

北海道文教大学 後援会 No. 20

CONTENTS

後援会活動の報告	1
理事長・学長挨拶	2
キャンパスの現況	3
就職部便り	4

平成30年3月1日(木)

発行責任者 中村 仁
発行係 〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
北海道文教大学事務局学務部学生課内
北海道文教大学後援会 TEL0123-34-0011

平成二十九年度 北海道文教大学後援会活動の報告

北海道文教大学後援会 会長 中村 仁



はじめに

会員の皆様におかれましては、日頃から後援会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、北海道文教大学はこの恵庭の地に開学して十九年、その前身となる「北海道女子栄養学校」として産声をあげてから今年で七十六年を迎えます。

学園創設者が遺された学訓「清く、正しく、雄々しく進め」を淵源とした建学の精神「清正進実」のもと、歴史と伝統に則して設定した、鶴岡学園「教育100年ビジョン」に沿って、二歩二歩着実に具体的な施策を計画・実施し、たゆまない前進を遂げていくことを基本方針とした北海道文教大学は、更なる飛躍に向け新たなスタートを切ったところであります。

後援会は、大学と学生・会員と共に、大学の充実・発展や学生の為に何ができるかという視点をもち活動を展開しております。今回の後援会会報二十号では、本年度下半期の事業についてご報告いたします。

下半期の主な事業

(一)平成二十九年度父母懇談会(平成二十九年度大学祭)の食券助成事業

一日 時 平成二十九年十月八日(日)

午前十時より

二 会場 大学本館二階大講堂ほか

三 内容 大学より、大学の現状について報告及び学科説明があり、その後、各担当教員との個別面談が実施されました。

参加された父母の皆様には、大学祭の模擬店で利用可能な食券千円分を後援会か

ら提供しております。

(二)二〇〇円朝食助成事業

一 実施期間 後期 九月二十五日～十一月九日

期間中 八時から九時までの営業

二 会場 学生会館「学生食堂」

三 内容 「美味しく、健康に！」を合言葉に、朝食の習慣付けを目的に実施し、四年目を迎えました。学生はもちろん、保護者からも好評で、次年度も継続して欲しいとの声が多数寄せられています。後援会では、実費三〇〇円のうちその差額を助成し、毎日一〇〇食を提供できるよう計画。毎月実施したイベント(二〇〇円バイキング等)も好評で、多数の学生が利用しました。



(三)学生食堂改修助成事業

学生にスムーズに昼食を提供できるよう、狭くて暗かった配膳エリアを広く明るくする改修を助成しました。カウンター席も新設し、更に利用しやすい学生食堂になりました。



(四)第二回役員会

一日 時 平成二十九年十一月十日

十八時三十分～二十時三十分

二 会場 ニューオータニイン札幌

三 出席者 後援会理事十六名

大学(理事・幹事)七名

四 審議事項

- (一)中間監査について
- (二)一〇〇円朝食の助成について
- (三)学生食堂改修助成について
- (四)父母懇談会助成について
- (五)入学式・学位記授与式支援品について
- (六)卒業記念品について
- (七)その他①次年度予算について

今後の予定

- (一)第三回WG・役員会
WG 平成三十年三月九日(金)
京王プラザホテル札幌
- 役員会 平成三十年三月二十三日(金)大学
- (二)平成二十九年度学位記授与式
平成三十年三月十七日(土)大学
- (三)平成二十九年度卒業祝賀会及び同窓会入会式
平成三十年三月十七日(土)
札幌グランドホテル

おわりに

今年度の活動も三月十七日の学位記授与式・卒業祝賀会を迎えるのとなりました。後援会役員につきましても、五名の方の卒業を受け、春の総会にて新年度の体制になります。

今年度、四年生の役員をはじめ、皆様の活発な意見、行動そして事務局のご協力に支えられた後援会活動でありました。この一年が円滑に進んだことに感謝申し上げます。

今後この活動が学生のより良い大学生活に寄与出来るよう、役員はもとより会員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

最後になりますが、卒業生の保護者の皆様、これからも北海道文教大学をご支援よろしくお願ひ致します。

ご卒業おめでとうございます。

理事長・学長挨拶

常に革新し続ける大学の使命

学校法人 鶴岡学園 理事長 鈴木 武夫
北海道文教大学 学長



新しい年度を迎えようとするこの時期に、皆様にお伝えすることがございます。

私はそれまでの理事長職に加えて八期十六年にわたり学長の職を担って参りましたが、このたび若い後継者にその任を託すことといたしました。

私は今後理事長職に専念し、学園の運営と当面する経営の課題に取り組み改革を推進して参りますことを、まずもって後援会の皆様に、お伝えしておきたいと存ずる次第です。

激変する社会情勢を先取りするためにも「鶴岡学園将来構想検討委員会」を立ち上げ、今後四年間の学園構想を早急につくり上げる方向で取り組む所存であります。

先日報道機関が「十八歳人口の激減期」という特集記事を掲載しておりました。しかし、そのことで内向きになることなく、あえて積極的な学園運営に挑戦することが必要であるとの認識を新たにするところであります。

質の高い教育を支えるのは強固な財政基盤であります。大学の総合化と安定した財政を保証するために学科の新設を進めて、現在二千二百名の定員から、収容定員三千名規模の大学を目指す基点となる年したいと思います。

そのうえでなんといっても、学園の基本姿勢である「学生と保護者の皆様の満足度を高める教育」

という姿勢を、より高くより強く推し進める年にしたいものであります。

次に、常により「質の高い教育」を目指すこと。そして「面倒見のいい教育」との両輪で進みます。「質の高い仕事」をする教職員は、同時に「面倒見のいい仕事」をする教職員であることを肝に銘じたいと思います。

そして、後援会・同窓会・PTA・父母会との連携を深め、お互いに成長しあう方向を確認して、大きな輪をつくる年したいと思います。

このように、学園全体が将来構想を共有することによって、「笑顔で未来を語り合う温かな学園」にするために手を携えて進む飛躍と実行の年にします。

大学運営の基本は、未来を創造する学生諸君の着実な成長と、保護者の皆様の教育期待に応えるところにあるという原点を、しっかりと確認しながら進まなければならないと考えます。

未来を創造する活力は、常に革新し続ける不屈の精神から湧きあがります。後援会の皆様の深いご理解と、温かいご支援を心からお願い申し上げます。



平昌オリンピック女子アイスホッケー 高涼風選手 出場おめでとう



後援会の助成により開催された壮行会には、150名を超える学生や教職員が参加。後援会を代表して仲間副会長より花束が贈呈されました。



キャンパスの現況

北海道文教大学

副学長 橘内 勇



皆様からは日頃より本学の教育・運営に対し、特段のご理解、ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。平成二十九年度は学校法人鶴岡学園にとりまして記念すべき創立七十五周年を迎え、これからの百周年に向けて、決意を新たに大きな一歩を踏み出したところです。

大学を取り巻く状況は、「大学の二〇二八年問題」で指摘されていますように、大学に入学する十八歳人口の減少が挙げられます。もうすでに全国の四割の大学、とくに地方の小さな大学での定員割れが深刻な状況となっています。本学におきましてもこのことはけつして無縁ではありませんが、大学一丸となつて魅力ある大学づくりに努めています。本学ではその一環として、大学卒業後、社会人になってからも学ぶ機会確保のため、大学院の充実を図っています。とくに二十九年度開設した二つの大学院研究科（リハビリテーション科学研究科、こども発達学研究科）は社会人を対象としており、仕事帰りの本学卒業生が、夜間や土曜日にもかかわらず各自の目標に向け勉学に励んでいます。

なお、本学の現状につきまして、その一部をこの紙面にて紹介させていただきます。

（学生数）

本学では全体として収容定員を若干上回る数で推移し、安定的な経営となっています。平成二十九年五月一日現在、本学の学部、大学院含めての学生数は、収容定員二二二六六名に対し、二二八三三名（収容定員に対する割合は二〇二・六％）となっています。

（課外活動）

本学の学生は、ほとんどの学科で学外実習が課せられており、そのため課外活動を円滑に継続したい現状にあります。全体としては四十五団体（体育系二十五団体・文化系二十団体）が活動して、文武両道の学生生活を送っています。その中で、昨年度一部リーグ昇格を果たした女子バスケットボール部から、日本女子学生選抜バスケットボール大会において、北海道選抜に本学から2名の選手が選ばれました。また、平昌オリンピック女子アイスホッケー日本代表選手として、国際言語学科3年高涼風（たかすずか）さんが決定し、後援会の助成により壮行会を開催。たくさんの方の学生や教職員が、高選手にエールを送りました。

（奨学金）

今年度、奨学金受給の学生は二九〇人で学生全体の五十三・三％、そのうち多い順より、日本学生支援機構、北海道文教大学奨学金、市町村等その他の奨学金となっています。この結果より学生の過半数が奨学金を必要としており、今後も奨学金制度の充実が望まれます。

（新入生宿泊研修）

今年度も後援会の助成をいただき、三年目となる新入生宿泊研修を北湯沢温泉「緑の風リゾートきたゆざわ」で実施しました。新入生五百十五人、サポート学生七十人、教職員二十七人の合わせて六百二十二人がバス十六台に分乗しての大移動でした。大学に入学間もない学生にとっては、「この宿泊研修を通じて大学に早く馴染めたと大変好評でした。なお、三十年度は四月九日（月）、十日（火）の両日で実施する予定です。

（国家試験合格率）

国家試験を課せられている学科では、日頃から熱心に学修に取り組んでおり、後援会からの助成

が模擬試験や教材の購入等で役立っています。

昨年度卒業生の国家試験合格率は、管理栄養士八〇・〇％（全国平均九十二・四％）、理学療法士二〇・〇％（全国平均九十七・五％）、作業療法士二〇・〇％（全国平均九〇・五％）、看護師九十六・四％（全国平均九十四・三％）でした。

なお、今年度の国家試験日は以下のとおりです。学生達の頑張りにも期待しています。

（大学院研究科修士課程の設置）

本学では将来的に全ての学科に大学院を設置し、本学の卒業生が、将来、働きながら学び、高度専門職業人や研究者を目指す環境を整備中です。なお、現在、グローバルコミュニケーション研究科、健康栄養科学研究科、リハビリテーション科学研究科、こども発達学研究科の併せて4研究科となりました。今後は看護系大学院の早期の開設が望まれています。

（二〇〇円朝食の実施）

二〇〇円朝食は後援会の助成で四年目の実施となりました。二十九年度につきましては、前期は四月十七日から七月二十八日まで、後期は九月二十五日から十一月九日までと、他大学と比較しても圧倒的に長い期間の実施でした。学生や保護者からは今年も非常に好評で、一日平均七十人が利用する結果となりました。

（環境整備）

学生駐輪場の整備の二環として、今年も後援会の助成でサイクルスタンドが増設されました。これにより、学生の駐輪マナーと利便性が向上しています。

国家試験名	試験日	合格発表
看護師国家試験	平成30年2月18日(日)	3月26日(月)
理学療法士・作業療法士国家試験	平成30年2月25日(日)	3月27日(火)
管理栄養士国家試験	平成30年3月4日(日)	3月30日(金)

就職部便り

二〇一八年三月卒の就職環境と学生動向について

北海道文教大学 就職部長 野村 直樹



企業の高い採用意欲が続いている二〇一八年三月卒業の就職活動。本学の内定率も前年より一ヶ月ほど前倒しで各月推移しています。

就職活動については、「三月採用広報解禁、六月選考解禁」というルールで行われますが、自社セミナー・説明会の開始は、三月上旬から中旬に集中しており、エントリーシート受付開始も、前年より大幅に増加し、約半数の企業が三月上旬に開始し、集中度合いがいつそう高まり、忙しい日程になりました。

なお、四月までに約七割、六月の選考解禁前には八割以上が面接を開始。前年以上に動きが早まり、多くの企業が六月より前に内定出しをしてみました。

売り手市場の言葉での就職活動は、ただ単に内定を取る活動ではありません。「留学経験があるから」「ゼミや部活に打ち込んだ経験があるから」「アルバイトで大きな成果が出ているから」：理由は色々あると思いますが、これからの何十年という生活の中心となる会社探しという大きな進路選択に対して、楽観的に考えている場合ではありません。就職活動は、社会で活躍して、なりたい自分に近づいたための大切な活動です。

就職活動も終盤を迎えています。就職部も学生一人ひとりの進路実現の為に、最後まで支援を行います。次に各学科の状況についてお知らせします。

各学科の就職活動と学内就職講座・セミナー開催

【国際言語学科】昨年同様、企業の旺盛な採用意欲から学生内定者数は五月～七月の三ヵ月間で半数以上となりました。六月以降も順調に内定実績を確保しています。

主な業種は卸売業・小売業・サービス業・宿泊業・情報通信業ですが、外国人の「インバウンド需要」

拡大から、新千歳空港関連企業からの内定が特質されます。

【健康栄養学科】就職活動前半は、企業の意欲的な採用活動に歩調を合わせ、積極的に行動する学生が多く見受けられました。ゼネラリスト中心に一部上場企業・ドラッグストア・首都圏給食企業中心に内々定の母集団を形成することが出来ました。臨地実習期間をささみ、後半戦では、病院・施設をはじめ地方公務員（管理栄養士職）の専門職求人に向け、現地見学など活発に活動していました。

調剤薬局の管理栄養士職が新求人として注目です。

【理学療法学科・作業療法学科】今年も八月下旬に「学内就職説明会」を開催し就職活動が始まりました。採用実績のある説明会参加病院や実習先への応募が中心ですが、例年以上に他学との競合が激しく、書類選考で不採用となるケースもあるなど厳しさを増しております。今後は応募先の選定を含め、今まで以上に慎重な応募準備が必要だと考えます。

一月現在の内定状況は、理学療法学科はほぼ前年並み、作業療法学科は昨年を上回る状況にあり、今年度も共に就職率一〇〇%を目指しています。

【看護学科】年々選考試験が早まり、道外の大病院を中心に、五月位から実質的な就職活動をスタートしました。求人件数が伸び悩む中、新規養成校など他学との競合もあり、前年にも増して早期の就職活動に努めました。札幌市内の医療機関では、第一志望先に就職出来ないケースが発生しましたが、学科と連携して学生をサポートした結果、今年度も公的病院や総合病院を中心に、一月迄に希望者全員の就職が内定しました。

【こども発達学科】今年度は内定者職種構成に変化があり、幼稚園教諭・支援員（社会福祉）が増加し、保育士と同数程度となりました。三職

種内定が拮抗した要因としては、学生個々が資格を活かし、選択肢が広がった結果と分析しています。今後は二月～三月の教員採用試験（期限付き）が残ります。

【学内就職講座・セミナー開催】今年度も全学科を対象としてファイナンシャルプランニング講座・R-CAP受験（自己発見診断テスト）・公務員試験対策講座を実施、予定しています。（別表）の開催一覧表を参照下さい。今後も社会情勢・就職状況を考慮した講座を積極的に開催していきます。

■平成29年度 主な学内就職講座・セミナー開催一覧

実施日時	タイトル	内容	対象
平成29年4月11日	公務員模試・ガイダンス	資格職(保育士・栄養士)	4年生
平成29年4月14日	留学生就職支援セミナー	日本で就職する方法・心構え	留学生
平成29年4月25日	自衛隊業務説明会	自衛隊組織及び業務内容説明会	4年生
平成29年5月17日・24日	就活応援講座	学外就活スペース(札幌駅北口)就職実践講座	4年生
平成29年8月3日	個人面接対策講座	就職未内定者対策講座	4年生
平成29年8月22日	PT・OT就職説明会	71病院・施設の合同説明会	3～4年生
平成29年8月23日～29日	ファイナンシャル・プランニング3級講座	FP3級検定試験対策講座	全学年
平成29年9月26日	公務員チャレンジテスト	公務員試験受験希望者	全学年
平成29年10月10日～13日	R-CAP受験	自己発見診断テスト	2～4年生
平成29年10月20日	小論文対策講座	就職試験における小論文対策	4年生
平成29年11月15日・12月5日	R-CAP解説セミナー	結果解析・就活における活用方法の解説	2～4年生
平成30年1月17日	就職内定者セミナー	働く時のルール(労働法、コンプライアンス)	4年生(内定者)
平成30年1月29日	北海道警察業務説明会	北海道警察組織及び業務内容解説	3年生
平成30年2月14日～27日	公務員試験対策講座	公務員・教員採用・一般企業筆記試験対策	全学年
平成30年2月13日	就活スタート支援講座	就職活動本番対策:集団面接講座	3年生
平成30年3月5日・7日	就職直前対策講座	看護学科就職実践講座	3年生
平成30年3月22日・23日	就職直前対策講座	理学・作業療法学科合同就職実践講座	3年生